

平成24年度施策の 実施状況について (その1)

平成25年3月27日
広島湾再生推進会議



1

平成24年度施策の実施状況について (その1)

ページ	機関名(事務局)	内 容
3	広島県	太田川流域下水道東部浄化センターにおける高度処理の導入推進
4	広島市	合流改善の推進
5	林野庁	森林整備の推進
6	整備局	生物生息を考慮した護岸整備
7	整備局	みなとオアシスへの登録
8	整備局	広島湾内のみなとオアシスにおける各種イベント等の実施
9	広島市	水の都ひろしまづくりの推進
10	整備局	環境学習、シンポジウムやフォーラムなどの開催・支援
11	環境省	平成24年瀬戸内海国立公園自然観察会「宮島干潟の生き物観察会」の開催
12	整備局	ホームページによる瀬戸内海の歴史・文化的資源や各種イベントの情報発信等
13	整備局	「瀬戸内・海の路の利用振興」に係るモニターツアーの開催
14	整備局	市民連携による清掃美化活動の推進
15	整備局	海洋環境整備船「おんど2000」による海洋漂流ゴミの回収
16	六管	海を守るPOCKET BOOKの作成
17	山口県	山口県海岸漂着物対策推進地域計画の策定に基づく、協議会の運営及び漂着物処理マニュアルの検討

目標1：森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

水環境の再生

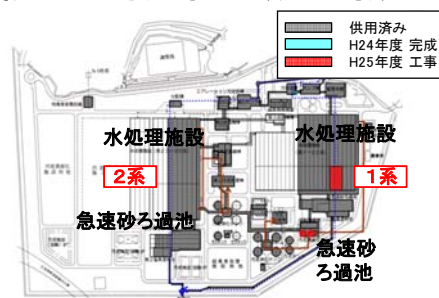
継続

太田川流域下水道東部浄化センターにおける高度処理の導入推進（広島県）

下水処理場
高度処理供用開始時期



計画放流水質：
BOD 6mg/L
T-N 13mg/L
T-P 0.8mg/L



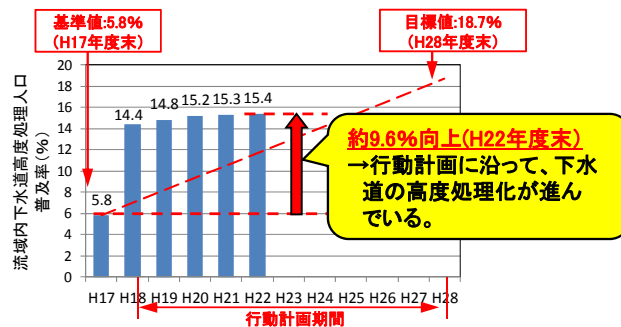
平成24年度は、安定した汚水処理を継続するため、老朽化した施設・設備の改築更新を行った。

処理方式

1系 標準活性汚泥法（微生物の作用により有機物を分解・浄化）

2系 2系の処理施設については、凝集剤併用型循環式硝化脱窒法（窒素やリンの浄化率が高い）による高度処理の導入を推進

1系と2系で合計
148,380m³/日の
処理水量



下水道高度処理人口普及率の推移(広島湾流域全体)

3

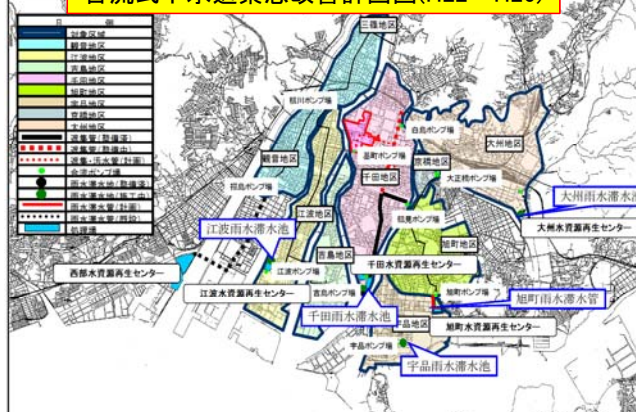
目標1：森・川・海の健やかな繋がりを活かし、豊かな広島湾を保全・再生する。

水環境の再生

継続

合流改善の推進（千田、江波、旭町、宇品、大州地区）（広島市）

合流式下水道緊急改善計画図(H22～H26)



広島湾流域内の合流式下水道改善計画の一覧

自治体名	地区名	対策内容	行動計画期間															
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	計画年次			
広島市	千田地区	雨水滞水池、道集管（鶴見・白鳥）の建設																
	江波地区	雨水滞水池の建設、スクリーン目地の縮小																
	宇品地区	雨水滞水池の建設																
	旭・大州地区	雨水滞水池の建設																
	大州地区	雨水滞水池、道集管の建設																
岩国市	新宮処理区	雨天時下活性汚泥処理法の採用																
大竹市（和木町）	大竹処理区	雨水滞水池の建設																
岩国市	一文字処理区	高速ろ過の導入																

行動指標の目安(8地区改善)に対し計画どおり進捗。



江波地区 雨水滞水池(完成予定)



大竹処理区 雨水滞水池(完成)

平成24年度は、

- 広島市江波地区雨水滞水池、大竹市大竹処理区雨水滞水池が完成
- 岩国市一文字処理区の高速ろ過の導入完了

4

水環境の再生

継続

森林整備の推進（近畿中国森林管理局、広島県、山口県、広島市）



下刈作業（高鉢山国有林）
近畿中国森林管理局



地域住民が主体となった継続的な森林保全活動（江田島市）
広島県



下刈作業（江田島市）
広島県



企業や地域住民による森林づくり体験活動（周南市）
山口県



もりメイトの育成（植林）
広島市

- ・水源かん養機能等、森林の持つ多面的機能の維持増進を図るための森林整備（下刈、除伐ほか）を実施。
- ・平成24年度は、関係機関で1,200ha以上（ただし一部未集計）の森林整備を実施。

5

水環境の再生

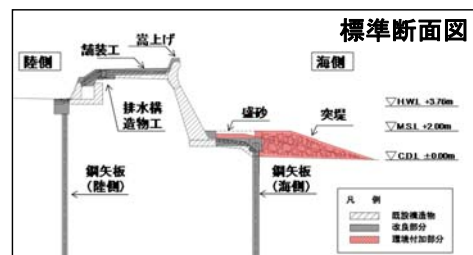
継続

生物生息を考慮した護岸整備（直轄海岸広島港海岸）（中国地方整備局）



<整備の内容>

- ・高潮による浸水被害や、液状化被害を防ぐための護岸整備にあたり、生物生息機能を創出する構造を付加。



- ・広島港海岸において、高潮被害や液状化被害の防止のための対策事業を実施中。
- ・事業の実施にあたっては、高潮被害や液状化被害の防止機能の確保に合わせて、生物生息機能を創出する護岸の構造を付加。
- ・平成24年度は盛砂工、突堤工を実施（整備延長＝約520m）。

6

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

みなとオアシスへの登録（坂町、広島市）

みなとオアシスとは？

- 平成15年度に中国地方整備局と四国地方整備局が創設した、**市町村及び住民の皆さんが「みなと」を地域交流の拠点として活用できる制度。**
- 海浜・旅客ターミナル・広場など「みなと」の施設やスペースを活用した**地域交流拠点**に対し、**地方整備局長が認定登録を行い、様々な支援を実施する。**
- 地域のニーズを反映し、より地元にも愛される「オアシス」とするため、**構想段階から運営・維持管理段階まで、住民の皆さんに参加していただきながら創り上げていくことが大きな特色。**



「みなとオアシス」のシンボルマーク



みなとオアシスベイサイドビーチ坂



みなとオアシス広島

「みなとオアシス」登録式典の様子

広島湾内では、平成24年度に、以下の2箇所がみなとオアシスに正式登録。

- ①みなとオアシス ベイサイドビーチ坂
(平成24年8月)
- ②みなとオアシス広島（広島港）
(平成24年11月)

7

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

広島湾内のみなとオアシスにおける各種イベント等の実施（坂町、広島市）



元オリンピック選手によるビーチバレースクール



帆船フェスタイベント



学生による「みなと活用ワークショップ2012」
(各班で広島港の活用方策の提言を発表)

【みなとオアシス ベイサイドビーチ坂】
・サンバ、ビーチバレーやサッカー、ライブ等々の多数イベントを通じて、**広く一般の方が海浜に親しむためのきっかけ作りを行った。**

【みなとオアシス広島】
・帆船フェスタの開催

・「みなと活用ワークショップ2012」では、広島湾の再生に関連を持つ6大学＋1高校が広島港に集まり、現地視察の後、港の活性化に向けた取り組みを話し合い、その結果を提言として報告した。

＜提言＞

- ①移植によるピオトープの設置
- ②ハーバーマルシェの開催
- ③宇品波止場公園と広島港宇品旅客ターミナルまでの一体感のある動線の確保

8

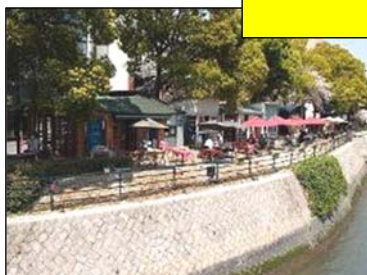
目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

魅力ある親水空間の創出

継続

水の都ひろしまづくりの推進（中国地方整備局、広島県、広島市）

約132,000人が利用（平成24年4月～12月末）



京橋川オープンカフェ（独立店舗型）



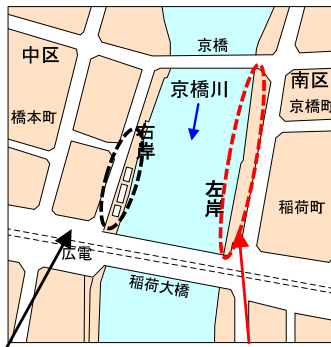
元安川オープンカフェ（独立店舗型）



本川オープンカフェ（地先利用型）



春期水辺のコンサートの様子



京橋川左岸側の独立店舗型オープンカフェの新規展開（平成24年度～）

京橋川右岸側の既設独立店舗型オープンカフェ

- ・平成24年度は、引き続き原爆ドーム対岸親水テラス等において水辺のコンサートを開催。
- ・また、引き続き京橋川オープンカフェ、元安川、本川オープンカフェを実施。
- ・平成24年度は、新たに京橋川左岸での独立店舗型オープンカフェの新規展開に伴う実施設計を実施。

9

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

親水空間の利活用の活性化

継続

環境学習、シンポジウムやフォーラムなどの開催・支援



21名参加

自動車輸送専用船の見学

小学生を対象とした広島港見学会
（中国地方整備局）



15名参加

港湾業務艇を利用し広島港の役割を説明

海から見る環境学習の実施
（中国地方整備局、広島市）



コンテナ船の見学

73名参加

みなと広島親子見学会
（中国地方整備局）



水生生物採取実習

15名参加

広島市環境サポーター養成講座
（広島市）

【小学生を対象とした広島港見学会】
（平成24年9月20日開催）

- ・港に来る機会がほとんどない小学生等を対象にした、港の必要性や施設のしくみについて理解、関心を高めてもらうための見学会を実施。

【海から見る環境学習の実施】
（平成24年10月14日開催）

- ・「エコまつり」環ッハッ'inよしじま'2012において、広島港湾・空港整備事務所所有船舶「りゅうせい」により地元の方を対象に広島港における環境学習を実施。

【みなと広島親子見学会】
（平成24年7月24～27日開催）

- ・小学生の親子を対象として、広島湾での干潟造成や港の役割などについて説明することで、広島湾再生の必要性や港の必要性などの理解と関心を深めるための見学会を実施。

【広島市環境サポーター養成講座】
（平成24年9月9日開催）

- ・環境保全活動のリーダーを養成する「広島市環境サポーター養成講座」を開催し、その受講者を対象に水生生物調査の講義及び実習を市内の河川（瀬野川）で行った。

10

目標2：人と海との繋がりを取り戻し、親しみやすい広島湾を再生する。

親水空間の利活用の活性化

新規

平成24年 瀬戸内海国立公園自然観察会「宮島干潟の生き物観察会」の開催
(中国四国地方環境事務所)

41名参加(募集定員30名)



開会式



干潟の生き物探し



巣穴に流し込んだ樹脂の取り出し



ハンディジオスライサーで
干潟の断面を観察

・瀬戸内海国立公園の豊かな自然に親しみ、生物多様生について理解を深めようため、自然ふれあい行事を実施しており、平成24年度は9月1日に、「宮島干潟の生き物観察会」を開催。

<内容>

- ・干潟の生き物観察(宮島大元干潟)
- ・樹脂で固めたアシハラカニやアナジャコなどの巣穴を掘り出し、形の違いについて学習
- ・ハンディジオスライサーによる干潟の断面図や石垣にすむ生き物が帯状にすみ分けをしている様子などの観察。

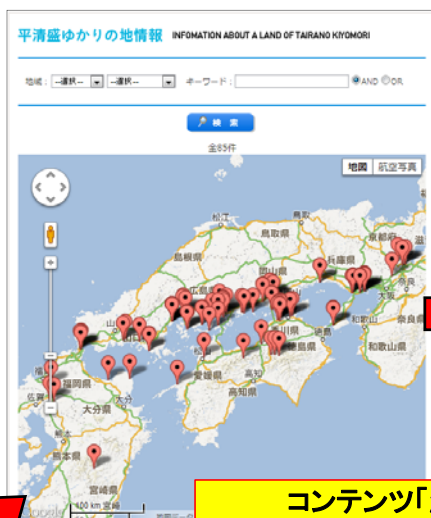
11

目標3：宮島などの魅力ある自然景観、歴史・文化を活かし、美しい広島湾を保全する。

自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全

継続

ホームページによる瀬戸内海の歴史・文化的資源や各種イベントの情報発信等
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)



コンテンツ「瀬戸内清盛マップ」



平成24年度は、瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会のホームページ「海の路」において、主に既存のマリナー・ビジターパス情報(空き状況や設備施設状況など)を一元的に提供するWebサイト改良を行うとともに、瀬戸内海における“平清盛ゆかりの地情報”について新たに「瀬戸内清盛マップ」を作成し情報発信を開始した。

12

自然景観、歴史・文化的資源を活用した保全

継続

「瀬戸内・海の路の利用振興」に係るモニターツアーの開催
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)



海上自衛隊第一術科学学校の見学



防災の観点から施設等を調査

- ・「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」では、平時には、新たな観光ルートの開拓等の観光振興に資するとともに、災害時には、そのルート等を活用し、緊急輸送や医療支援について相互連携を図る事を目的とした取り組みを実施している。
- ・その一環として、出前講座により、広島港周辺のみなどの役割を学びながら、島々の美しさや歴史も学ぶ観光モニターツアーを実施(平成24年11月23日、12月1日)。

13

こみの回収・処理、発生源対策の推進

継続

市民連携による清掃美化活動の推進

「リフレッシュ瀬戸内」清掃活動
(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)



約32トンのごみを回収



ゴミの組成調査

「クリーン太田川」清掃活動
(クリーン太田川実行委員会)

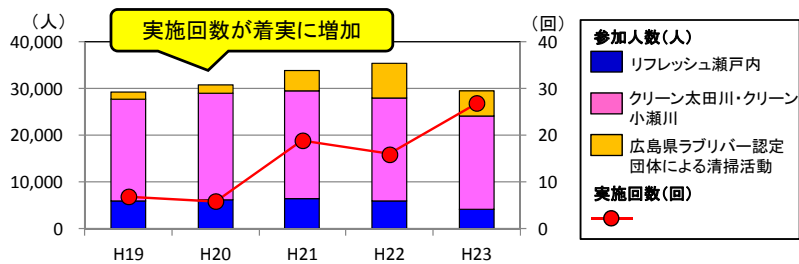


約17トンのごみを回収

広島県ラブリバー認定団体による清掃活動(広島県)



活動状況の例(呉市:町田コスモスボランティア)



清掃美化活動の参加人数及び実施回数の推移

注)実施回数はリフレッシュ瀬戸内とクリーン太田川の合計

- ・引き続き行政機関と市民、NPO等との連携による河川、海岸での清掃美化活動を様々な場所で推進。

14

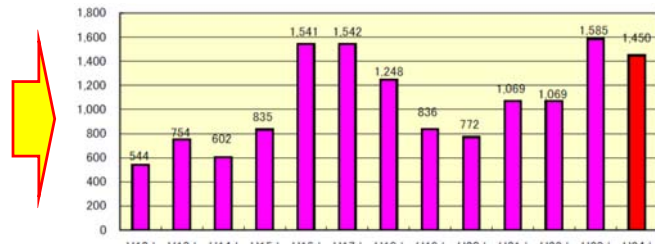
こみの回収・処理、発生源対策の推進

継続

海面清掃船「おんど2000」による海洋漂流ゴミの回収（中国地方整備局）



海面清掃船「おんど2000」



おんど2000による海洋漂流ゴミ回収実績(m³) (平成24年は1月までの回収量)



潮目に集まる海洋漂流ゴミの様子



流木の回収状況



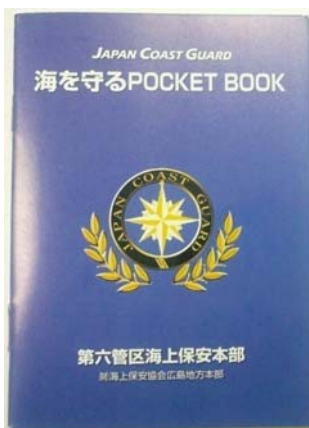
回収されたゴミの陸揚げ状況

- ・平成24年度は年間約1,500m³のゴミを回収し、過去最大の回収量であった昨年に引き続き大量の浮遊ゴミを回収した。また、「おんど2000」を活用し、水質調査（年4回）、底質調査（年1回）や広島湾水質一斉調査を実施しており、その結果は広島湾再生の状態指標へのフィードバックやホームページに掲載し、学術研究資料として役立てられた。

こみの回収・処理、発生源対策の推進

新規

海を守るPOCKET BOOKの作成（第六管区海上保安本部）



- ・一般家庭からの生活排水や、河川や海に何気なく捨てられたゴミ等が海洋環境への負担となっていると考えられる。
- ・このため、国民一人一人の海洋環境保全思想の普及を図ることを目的として、**将来を担う小中学生の子どもたちを対象とした海を守るPOCKET BOOKを作成した。**

＜内 容＞

- 海の世界を示す機種の生きもの
- 瀬戸内海にすむ生きもの
- 海がこれ以上よごれたら
- 私たちの家庭でできること
- 漂着ゴミ分類調査

今後、環境学習教室等において配布する予定。

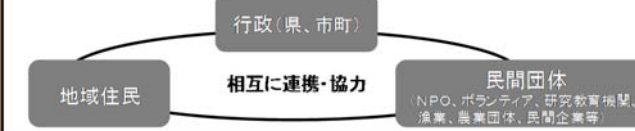
ごみの回収・処理、発生源対策の推進

新規

山口県海岸漂着物対策推進地域計画の策定に基づく、
協議会の運営及び漂着物処理マニュアルの検討（山口県）

海岸漂着物対策推進法(H21.7施行)

◆ 山口県海岸漂着物対策推進協議会 (H23.5設置)



協議・見直し

◆ 山口県海岸漂着物対策推進地域計画 (H23.9策定)



国の基本方針



◆ 処理マニュアル(※現在検討中)



報告

山口県美しい里山・海づくり条例

・山口県では、平成23年9月に「**山口県海岸漂着物対策推進地域計画**」を策定し、港湾、漁港など計178カ所を重点区域に設定し、ごみ処理の体制づくりを進めている。

・平成24年度は、**地域計画に基づき海岸漂着物を回収・処分するための行政機関向けのマニュアルを作成。**